

# 広野文芸欄

季題 当季雑詠

## 広野町文月句会

悟 峯

びしょくになって楽しい水遊び  
幼な子と目高の視線交差する  
田水見に一番鶏におくられて

塩 史子

店頭にうず高く積む夏帽子  
思い立ち猫と連れ立つ蛍狩り  
干草の匂ふ真中を牛舎へと

遠藤健太郎

青葙のさやぎや土手を一万歩  
頑張らぬことも大切蝸牛  
風鈴の短冊に古歌印しけり



西山子

若者よ恋せよ百合の咲きたれば  
二の腕に風の触れゆく更衣  
万緑の中饒舌なクラス会

阿部 真生

はつ夏の朝の浜風笹揺れる  
靄が立ちかすむ人影さつき雨  
梅雨空のもと老犬の何思ふ

酒井 津祢

花くずと言ふ花しべを手のひらに  
緑蔭のベンチに憩ふ行き帰り  
髪洗ふ明日出来ること明日にして

宮下 純子

空缶拾う手にまといつく梅雨の蝶  
庭仕事終えて一息花擬宝珠  
紫陽花や雨読楽しむ昼下り

### ● 俳句会 会員募集 ●

俳句会は毎月1回、先生である 行行子  
よりご指導いただいで活動しています。  
入会ご希望の方は「俳句会 遠藤健太郎  
☎ 2712412」まで

# 畜産農家を 訪ねて

シリーズ2

広野町では、7軒の農家が、広野町和牛部会に加入して和牛繁殖経営に携わっています。日々和牛の飼育に励んでいる会員を毎月シリーズで紹介します。

## 蓄主名

秋田 一義 さん  
(大字折木)

## 蓄主歴

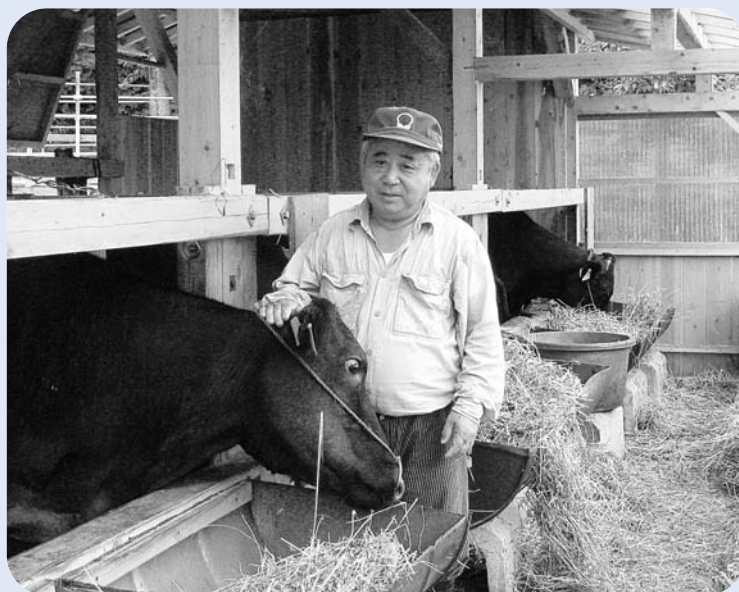
- 昭和 29 年から飼育始め、現在、親牛 17 頭、子牛 10 頭飼育している。

## 牛を飼育して良かったこと

- 子牛が高く売れた時。
- 今までは子牛の販売価格がよかったので稲作より、牛の飼育で生活できたのでよかった。

## 牛を飼育して大変なこと

- 毎年お産させることが大変。  
(1 頭あたり 1 年に 1 産が目標)
- 飼料代が値上がり子牛の販売価格が下がった、この状況がいつまで続くか不安。



▲○○○○○

## 飼育するのに工夫していること

- 2 町歩ある田んぼのうち 1 町 5 反歩が減反して、そこへ牧草を転作、年 4 回の収穫をするようにしている。
- 平成 13 年から飼料組合を（現在組合員 4 人）結成して牧草刈り、反転、梱包の機械を購入して作業にあたっている。
- 除角をすると牛がおとなしくなり飼育しやすくなると聞いたので、共済組合の獣医さんをお願いして今年の 2 月から親牛 15 頭の除角をした。

和牛を導入して繁殖経営に取り組んでみたい方は、役場産業グループまでご連絡下さい。  
広野町役場 産業グループ ☎ 0240-27-4163